

**歩行者・自転車・自動車の  
分離による安全性・快適性の向上**

車道及び歩道から独立した自転車走行空間を整備することによって、歩行者と自転車・自動車利用者の分離による安全性・快適性の向上を図る。

**環境に配慮した  
自転車走行空間の整備**

自転車走行空間の整備においてはリサイクル材料の使用など、地球規模での環境負荷の軽減を意識した循環型社会に対応した整備を図る。

**魅力ある空間形成によって  
良好な自転車走行空間を整備**

自転車走行空間をまちの景観を構成する重要な要素の一つとして捉え、沿道空間と一体となった魅力あふれる自転車走行空間の形成を図る。

**連続性のある  
自転車走行空間の確保**

ネットワーク性の確保に重点をおき、道路の横断構成の変化に柔軟に対応して、連続した自転車走行空間の確保を図る。